

議会報告会報告書

令和6年1月15日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
角田 真美

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和5年10月27日（金曜日）午前9時30分 ～ 午前10時35分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	角田 真美	池田 彩乃	城戸 佐和子	栗畑 寿一朗
	鈴木 和宏	中野 正幸	稲永 朝美	大川 晋作
参加人数	30名（下曾我小学校6年生児童27名、担任教諭3名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】 小田原市議会には衆議院や参議院のようなものはありますか
【回答】 国会のような衆議院や参議院のようなものはありませんが、会派制を導入しているので自民党、共産党のような会派という仲間で会議のとき発言しています
【質疑】 最近話し合った議題は何ですか
【回答】 令和5年9月定例会では「若者」に対する議案が大きく話し合われました。また6月の定例会では「デジタル」に対する議案もよく話し合われました
【質疑】 コロナが流行したころ、議員さん達にはどのような影響がありましたか
【回答】 オンライン会議の導入や、市民の方々からの相談が電話等になりました
【質疑】 議員になる前の職業で身に着けたことが役に立つ場面はありますか
【回答】 地域の方々と話し合ったり、意見をまとめたりするノウハウや専門家とのネットワークが役に立っています
【質疑】 議員をやっている大変だと感じることは何ですか
【回答】 市民の方からの要望をすぐに実現できないこと。自分の公約である「みんなにやさしい学校づくり」がまだできていないことです
【質疑】 議員以外にどのような仕事がありますか
【回答】 地域の自治会の会合に出たり、「まちづくり委員会」にも参加しています。どちらも困りごとや課題を聞き、少しでもよくするように頑張っているところです
【質疑】 議員をやっている良かったと思うことは何ですか
【回答】 「ありがとう」と市民の方に言われたときです
【質疑】 この仕事で有名人に会ったことはありますか
【回答】 議員として半年ですが、議員として有名人、芸能人には会っていません。国会議員には会いました
【質疑】 小田原市が一番費用をかけているのはどのような分野ですか
【回答】 民生費（福祉、子育て）として私たちの生活のためのお金が一番かかっています
【質疑】 小田原市をどんな市にしたいですか
【回答】 性別、年齢、国籍、障がいのあるなしに関わらずその人がその人らしく生きられるまち、一人ひとりが大切にされるまちにしたいです
【質疑】 この仕事で誇りに思ことは何ですか
【回答】 市民のみなさんから選挙で選んでいただき、小田原市議会議員 27 人のうちの 1 人として仕事ができている、そのことを誇りに思います
【質疑】 議会の内容はどのように決められますか
【回答】 議会で解決、議論していかななくてはならないこと、一つの例に挙げれば議案の提出などがあり、それにより議論・採決による決定があります
【質疑】 議員になったきっかけは何ですか
【回答】 私はみなさんの学校にもある PTA という団体にいました。その活動の中で気づいたことやもっとやらなくてはいけないことに気づき、小田原市のためになる改革が出来ないかと考え、市民の代表である市議会議員に立候補しました